



公益財団法人東京しごと財団委託訓練事業 東京都補助事業

東京ジョブコーチ

2020.秋
第17号

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙（年2回発行）

東京ジョブコーチ支援

BEFORE → AFTER

ケース1：採用前実習、入社後の定着支援でジョブコーチ制度を活用しました

支援対象者：Aさん／10代女性／知的障がい／新卒入社 業務：菓子工場内でのライン作業

BEFORE

【支援対象者の課題】

・Aさんは挨拶などのコミュニケーションに自信がなく声が小さい。業務習得支援と併せて、業務に必要なコミュニケーションの方法を習得してほしい。

【事業所の課題】

・事業所として初めて知的障がいのある方の実習を受け入れるため、TJC支援を依頼したい。

・Aさんの業務習得の様子を見て、Aさんが能力を最大限に発揮できるようにサポートしてほしい。

・Aさんへの指示の出し方、接し方等をTJCより事業所担当者へ助言してほしい。



AFTER

TJC支援で行ったこと

・支援対象者へ
ビジネスマナー習得のための助言

・事業所へ
支援対象者とのコミュニケーションの橋渡し

・Aさんは業務に慣れてきました。少しずつ名前を覚えてきました。

・事業所の対応がよくなりました。TJCの助言が解決の糸口になりました。
・事業所担当者への助言が適切に受け入れられました。

ケース2：対象社員や雇用側の困り感を分析し、相互理解へ導いてくれました

支援対象者：Bさん／40代男性／発達障がい・統合失調症／入社3年目 業務：書類仕分け、スキャン業務

BEFORE

【支援対象者の課題】

・Bさんは新業務に従事して数ヶ月経過したにも関わらず、習得が難しい。思い込みで物事を判断して進めてしまう。

・指導担当者からの指示をBさんが正しく理解しているのか、理解した内容は本当に合っているのか、マニュアルはいつ確認するのか、報告・連絡・相談は正しく行われているのか、など確認が必要な状況。

【事業所の課題】

・Bさんへの適切な対応方法がわからず、指導担当者が困惑。



AFTER

TJC支援で行ったこと

・支援対象者へ
①確認をルーティン化し、業務の正確性向上
②面談による不安の軽減

・事業所へ
業務指示の出し方やコミュニケーションの取り方に関する助言

・Bさんに業務に慣れ、返す業務に自信が持てるようになりました。
・TJCがBさんを取り方、業務の進め方を理解・分析し、BさんもTJCと一緒に業務を進めることができました。

・TJCのBさんへの助言が事業所担当者へ変化がもたらされました。

ケース3：入社2年目の課題解決に御協力いただきました

宇部興産株式会社

支援対象者：Cさん／20代男性／聴覚障害(口話可)・ADHD／入社2年目 業務：データベース入力、ファイル管理

BEFORE

【支援対象者の課題】

・Cさんは自分の決めたルールや正しいと思ったことに対して他人が意見をすることを嫌い、聞き入れられない。

・また、自分より弱い立場の人間を見つけ、しつこく話しかけたり、上に立とうとしたりする。

・さらに、一度無理と決めたことや人に対して、一方的に根に持ってしまう関係修復が難しい。

・時々、Cさんが奇抜な髪型で出勤するため、指導担当者が困惑。

・業務中、Cさんはエナジードリンクを過剰に摂取。

【事業所の課題】

・ADHD特性への理解が不十分なため、指導担当者が対応に苦慮し、負担を感じている。



AFTER

TJC支援で行ったこと

・支援対象者へ
面談により、鬱積した気持ちの聴き取りを行うことでストレス要因を軽減

・事業所へ
ADHDの障がい特性や業務適性、対応上の配慮点を助言

【支援対象者の変化】

・第三者であるTJCとの面談で自分が感じていることを素直に話せるようになった。
・現在、Cさんはストレスを軽減し、髪型やエナジードリンクの摂取量を減らした。

・TJCの助言をきっかけに、異動後、Cさんに適した業務が割り当てられた。

・健康課題について、TJCより面談を行ってもらったことで改善された。

・TJCからの助言により、Cさんの職場での理解が深まった。



* 語句の表現について *

BEFORE

→ 支援前・開始当初における支援対象者、事業所の課題

AFTER

→ 支援後の支援対象者、事業所の課題改善の経過

TJC

→ 東京ジョブコーチ

株式会社メリーチョコレートカンパニー 松尾 智恵子 様 菓子製造・販売 / 従業員数 (794人)

【支援対象者の変化】

・Aさんは「おはようございます」「お先に失礼します」等の挨拶ができるようになった。

ライン作業を止める時、周囲に聞こえる声で「止め」と言えるようになった。また、同僚の名前を覚え、名前を呼んで話し掛けられるようになった。

【事業所の変化】

状況とAさんの状況（性格や仕事への思い）をふまえて助言により、Aさんへの理解が深まるとともに問題が見つかった。

当者は、障がい特性よりもAさんの作業能力が向くようになった。



松尾様より

TJC支援のメリットは育成の着眼点が専門的かつ視野が広い所です。

TJCはまずAさんの成長意欲を確認し、“白衣のネームプレートを見て同僚の名前を覚え、名前を呼び掛けること”を助言して下さいました。Aさんが得意なこと（暗記）を生かして能動的に行動する事で、確実にできることが増えています。業務の習得も順調です。20回の定期的な訪問により支援対象者・事業所側は安心できますので、今後も定着支援にご協力頂けますと幸いです。

株式会社トランスコスモス・アシスト 佐藤 麻子 様 IT関連 / 特例子会社 / 従業員数 (事業所34人、グループ全体58,516人)

封入発送作業等の事務・軽作業

【支援対象者の変化】

さんが業務で注意する所をひとつずつ確認の上、一覧表を作成し、業務開始前や空き時間を利用して、繰り返し見直しをルール化。それによりBさんは自信をもって業務に取り組むことができるようになった。

の行動を張り付きで見守り、指示の聞き方やメモの手順など、Bさんの中で滞っている部分はどこかの折し、雇用側に共有してくれた。また、その解決策を考えてくれた。

【事業所の変化】

さんへの接し方を見本に、指導担当者の対応も徐々に担当者Bさんに対する指示も伝わりやすくなった。

佐藤様より

発達障がいの雇用経験はあるにも関わらず、Bさんの特性を把握しきれず困っていましたが、一般就労歴が長く（20年以上）自立度が高い一方で、業務遂行スキル（報連相など）は低い。Bさん自身も悩んでいました。

TJCの訪問の度に、具体的な対策を共に講じて下さったことにより、Bさんの特性理解が深まりました。また、Bさんにとっても、認め励ましてくれる存在が増え、安心して業務に対応しています。今後も、弊社だけの解決が難しい場合にはご協力いただけると幸いです。

株式会社 人事部ダイバーシティ推進グループ 先田 智裕 様 化学・建設資材・機械 / 従業員数 (3,329人)

パッキング、郵便物仕分け、会議室清掃等

支援依頼者（※1）：東京都立葛飾ろう学校 金沢 菜 先生

※1…TJC支援のお申込みをいただいた方です

【支援対象者の変化】

により、Cさんは事業所に対し直接に伝えられるようになった。

を感じることなく業務に取り組み、課題についても解決し

【事業所の変化】

Cさんの部署の異動が決定。Cさんの切り出しもTJCが行って

り産業医との連携に関する提案が実現し、改善につながられた。

さんの障がい特性に対する職

先田様より

Cさん本人の課題解決を通して、見えていなかった職場の改善点など、プロの視点から適切なアドバイスをいただけるのがTJC職場定着支援事業のメリットだと思いました。さらに、Cさんだけでなく、本人をサポートする担当者にとって、大きな支援だと感じました。職場の障がい特性理解を進め、障がい者雇用の現場が生き生きと活性化できるよう、今後も困ったときには当事業を利用させていただきたいと思います。

金沢先生より

今回は一つ一つの業務をどのようにこなしているか、Cさんの様子を一日中付いて拝見させていただかなければ、課題改善の提案が難しいケースでした。教員という立場ですと、日々の授業と並行して卒業生の支援をしておりますため、早急に動くことが難しく、非常に困っておりました。TJCを利用させていただき、多方面からのご意見をいただくことで、支援対象者の課題改善をスムーズに行うことができました。今後もぜひ利用させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

表紙絵題名：「優しいコリ」

作者：中村 優里菜（なかむら ゆりな）

作品ご紹介：

この作品は油絵で3か月かけて完成しました。所属していた美術部の夏合宿で山梨に行った時に出口池という場所でスケッチをすることになり、その時に草原の中に綺麗に咲いていたコリの光景がとても美しく印象に残り、描きました。コリの艶の部分表現するため、太陽光が花びらに当たっている所には、白を多く塗り、艶を表現する工夫をしました。



作者ご紹介：

私は、幼いころからよく両親の似顔絵を描いていました。

喜んでいる姿を見て、描くことで喜んでもらえる、人を幸せにすることができるってわかってから、私は絵に興味をもち、風景画や動物などを本格的に描き始めました。都立志村学園の美術部で初めて油絵を知り、描き方やコツについて学び、部活動祭りや高校の展示会に出展し、保護者や先生方にお褒めの言葉を頂きよき思い出となりました。

最近は油絵や色鉛筆などで職場の方々の人物画や社長の肖像画を描き、皆さんに喜んでもらえました。作品は、私が働いている（株）住化パートナーズ東京事業所のオフィス内にいくつか飾ってあります。オフィスの雰囲気明るくなったと好評です。



東京ジョブコーチ支援センターより

今年度は、感染症拡大の影響で、自粛生活・その解除以降、働き方にも本格的な変化が見られるようになり、新たな生活を模索しながらのスタートになりました。

その一例に“リモートによる働き方”が挙げられますが、とても有効である一方、支援対象者・事業所の方からは、次のような、新たな大変さ・困り事をお聴きする機会が増えていきます。

【リモートワークのご相談例】

- ・すぐに相談できる同僚や上司がそばにいない。
その結果、優先順位がつけられず仕事がかたどらない。
- ・孤立した気持ちになってしまう。
- ・適度な休憩の取り方がわからない。
その結果、疲労がたまってしまう。
- ・リモートワークに適した環境が自宅に整っていない。

このような相談例に対して、オンライン面談により、助言・支援している事例も増えつつあります。当事業としてはこれまでどおり、皆さまのご相談に応じながら支援活動（職場内支援など）を続けております。



話題は変わり、「東京ジョブコーチ支援センター」が現在の所在地（渋谷区代々木）に移転し7月で1年が経ちました。相談の場として、「事業所・障がいのある方・支援機関・学校・家族」などたくさんの方にご利用いただいています。事業所向けに毎月1回『個別相談会』を開催していますので、ぜひご利用ください。電話・メールにて、ご都合の良い日時を予約していただくことも可能です。下記までご連絡ください。

Contact us

▶ 事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援センター（受付時間 平日 9:00～17:00）
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-11-2 代々木コミュニティビル3階
TEL(03)3378-7057 FAX(03)3378-7058
Eメール tokyo-jc@ikuseikai-ky.or.jp
ホームページ <http://www.ikuseikai-ky.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

▶ 事業全般、東京ジョブコーチに関すること

公益財団法人 東京しごと財団
障害者就業支援課 コーディネート事業係
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階
TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463
ホームページ <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>